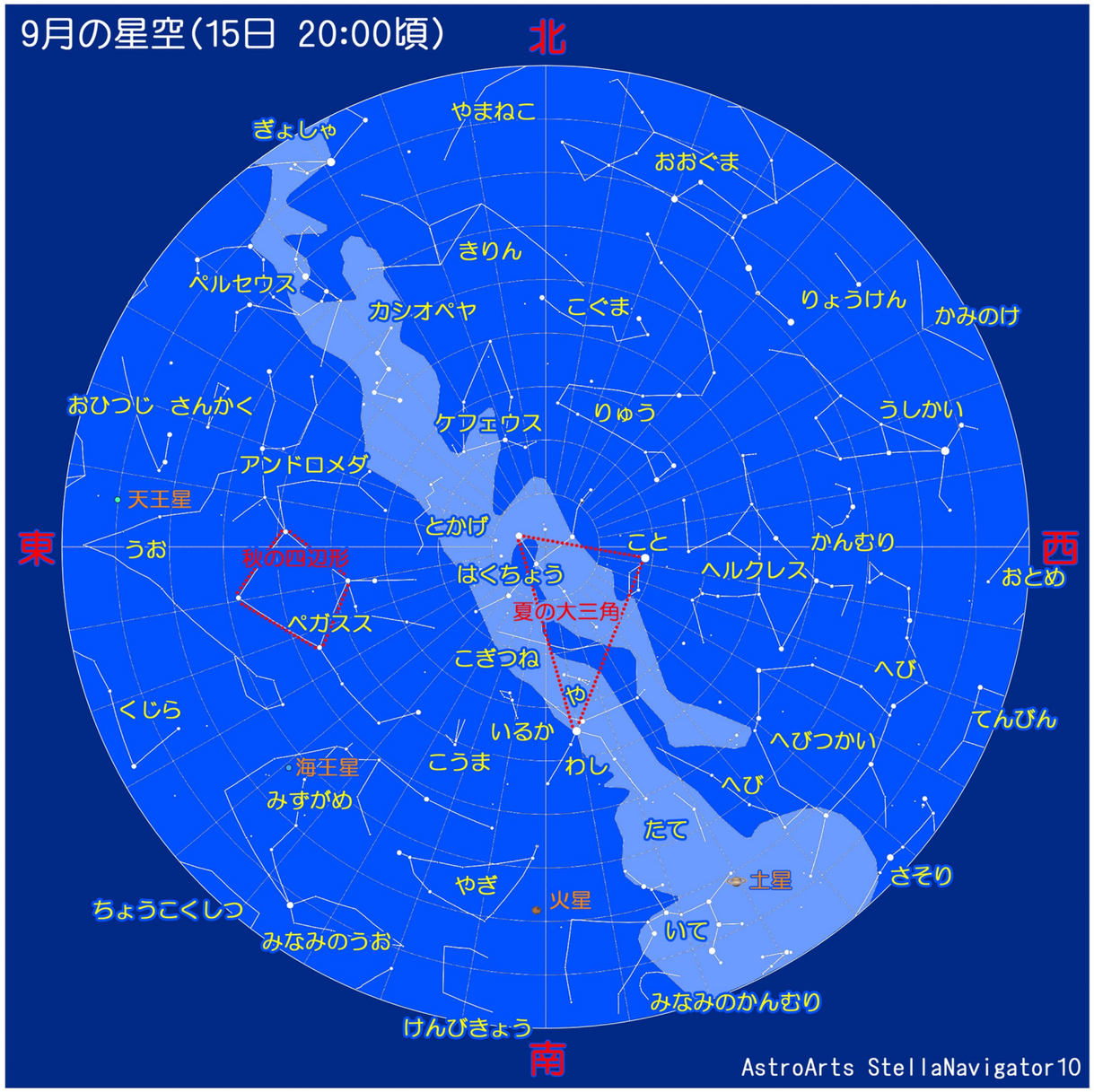
銀河の森天文台
2018年9月みどころ天体情報



今月のイチオシ！

☆h-χ（エイチ-カイ）

二つ並んだ散開星団で、エイチ-カイと読みます。ペルセウス座に位置さいますが、カシオペア座から探すほうが簡単に探すことができるでしょう。北東の空に昇ってきた、カシオペア座の中心の星とその下側の星とを結んだ線を、下側に２倍伸ばした先に見える微かな光芒がh-χです。天文台の15cm大型双眼鏡では、視野いっぱいに二つの星団の星がちりばめられた様子を見ることができます。

距離：約7500光年

h-χ

月

		出	没
3日	◑下弦	22:21	12:29
10日	●新月	05:01	18:21
17日	◑上弦	12:45	22:23
25日	○満月	17:40	04:56

天文台から月を見ることができるのは13～29日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。

距離：約38万km

火星

だんだんと地球からの距離が離れていきますが、まだ南の空に明るく輝く姿を見ることができます。最接近のころと比べると、だいぶ小さくなってしまいましたが、まだまだ表面の模様を見ることができます。

太陽からの距離：約2億2790万km

海王星

太陽系で一番外側を周る惑星、海王星が見えてきました。遠いために、あまり大きくは見えませんが、直径は地球の約4倍もあります。淡い青色に見えるのが印象的です。

太陽からの距離：約45億km

M15（球状星団）

秋を代表する球状星団でちょうどペガスス座の鼻先に位置しています。明るく非常に密集した球状星団で望遠鏡では星が密集した様子を観察することができます。

距離：約3万3600光年

M31（銀河）

有名なアンドロメダ銀河で、肉眼でも見ることができます。りくり望遠鏡では視野からはみ出してしまうほど大きく、全体を見るのであれば、双眼鏡を使うのが良いでしょう。

距離：約230万光年

アルマク（重星）

色違いの重星では、はくちょう座のアルビレオが有名ですが、このアルマクも負けてはいません。オレンジ色と青色の星が寄り添う姿がとても綺麗です。

距離：約394光年

NGC7662（惑星状星雲）

アンドロメダ座にある惑星状星雲で、青い雪玉（Blue Snowball Nebula）という愛称がついています。名前のとおり、きれいな青色が印象的です。

距離：約2000～6000光年

ちょっとマニア

• NGC457（散開星団）

カシオペア座に位置する散開星団で、星の並びが映画「E.T.」に出てくる宇宙人に似ていることから、「E.T.星団」と呼ばれ、天文台の大型双眼鏡でその姿を楽しむことができます。

距離：約7922光年

その他おすすめ

- 土星
- 天王星
- M2（球状星団）
- M57（惑星状星雲）
- NGC7331（銀河）
- アルビレオ（重星）
- ガーネットスター（恒星）

9・10月の銀河の森天文台カレンダー

9月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24	25	26	27	28	29

10月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	13	24	25	26	27
28	29	30	31			

開館時間

14:00～22:30
（4月～9月）

13:00～21:30
（10月～3月）

休館日